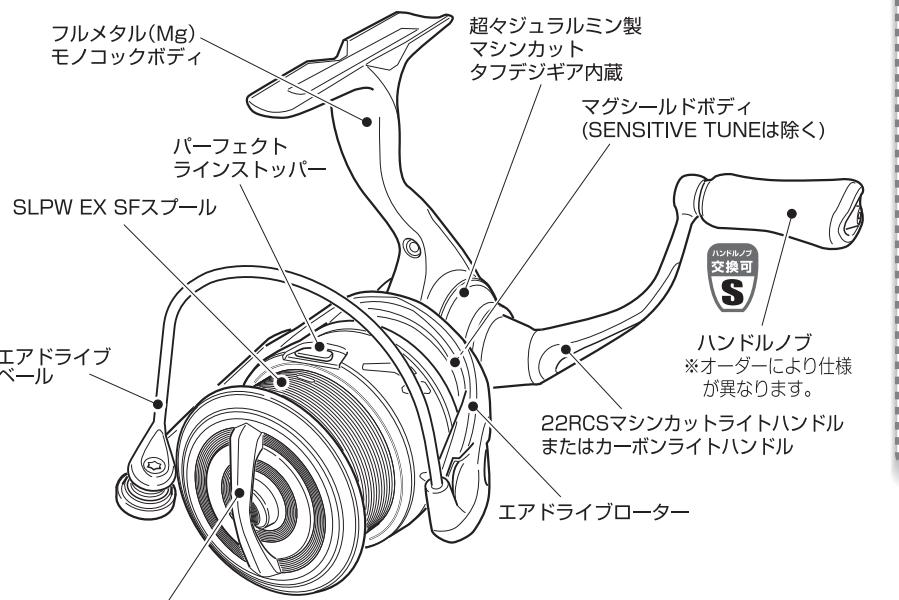


●各部の名称

この度は、SEMI ORDER SYSTEM EXIST SF をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品は、釣り人が求める、意のままにルアーを操作することを追求した次世代スピニングリールの設計思想「AIRDRIVE DESIGN」を採用しています。
このリールを正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。



AIRDRIVE DESIGN

SEMI ORDER SYSTEM EXIST SF

取扱説明書

●安全上の注意

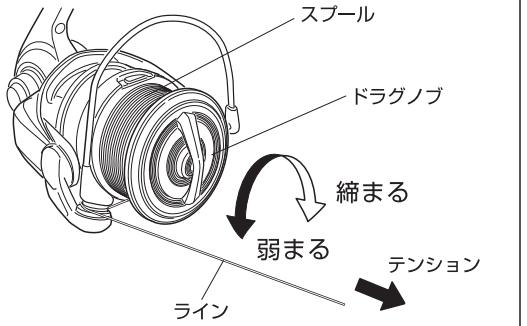
- !
注
意
- ①ストッパー付リールでストッパーをOFFにして釣っていたり、ワンウェイクラッチ部に注油したりすると、ハンドル、ローターが逆転し、手にあたりけがをするおそれがあります。十分にご注意ください。
また、キャスティング時には必ずストッパーをONにしてください。OFFのままキャスティングをすると、ローターが高速回転し、手にあたりけがをするおそれがあります。
(ストッパーON/OFF切換機構搭載の有無は、機種により異なります。)
 - ②回転しているとき、回転部に触れないでください。けがをするおそれがあります。
 - ③糸が熱いよく出ている時は、糸をつかまいでください。糸で指を切ることがあります。
 - ④ローター、ボディ、ハンドルの隙間に指・衣服等が挟まる大変危険ですので、取扱いには十分にご注意ください。
 - ⑤投げ際、ペールを起こすのを忘れたり、ハンドルがペールの返りやすい位置にならないようにしてください。
仕掛けが出て行かず、けがをするおそれがあります。
 - ⑥ドラグ付きリールで、遠投する際には、ドラグが滑ると糸で指を傷つけるおそれがあります。必ずドラグをよく締め付けてから投げるようにしてください。
 - ⑦ドラグが作動し続けると、ドラグ部が高温になり、火傷をするおそれがあります。十分にご注意ください。
 - ⑧乳幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

●ご使用上の注意

- !
注
意
- ①本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。
 - ②本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損するおそれがあります。
 - ③使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量・巻糸状態との差異が生じることがあります。
 - ④根掛かりした時は、竿をあおらす糸を棒状の物に巻き付け、引っ張って切るようにしてください。
竿をあおると、竿折れの原因になります。
 - ⑤落下等の強い衝撃がかかると、破損する場合があります。
また、竿に装着した状態での落下等、竿尻に衝撃がかかった場合にも、リールの脚部が破損するおそれがありますので十分にご注意ください。
 - ⑥シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装が剥げたりすることがあるので、ご使用にならないでください。また、上記が手に付いたままリールを扱うこともおやめください。

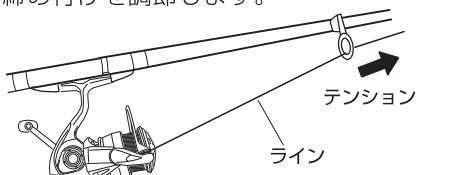
●ドラグ調整

ドラグとは、ドラグの締め付けを調整することにより、魚の急激な引きに対応し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。



* ドラグノブは右に回すと強く締まり、左に回すと弱くなります。

* リールをロッドにセットし、ラインをロッドのガイドに通してから調整してください。ストッパーONの状態で、手で糸を引き出しながら、ドラグの締め付けを調節します。



* 遠投する際には、ドラグが滑ると糸で指を傷つけるおそれがあります。必ずドラグをよく締め付けてから投げるようにしてください。

* ドラグフリーの状態のまま竿をあおらないでください。糸がバックラッシュしローターやメインシャフトに絡むことがあります。巻包状態や取り扱いには十分にご注意ください。

■製品特性上の注意

この製品はバスフィッシング、エリアトラウト、ネイティビトラウト、ライソルトでの限られた使用を想定した、SF (スーパー・フィニス) 専用機としての極限性能を追求しております。そのため、通常の社内規格外のセッティングを施しておりますが、商品特性としてあらかじめご了承ください。
右記の要領でご使用いただくことで、本来の性能を發揮させることができます。

●SEMI ORDER SYSTEM EXIST SF の特徴

AIRDRIVE DESIGN

エアドライブデザインは、釣り人が求める意のままにルアーを操作することを追求した次世代スピニングリールの設計思想。エアドライブデザインは、最大4つのテクノロジーで構成される。巻き出しが軽く、ハイレスポンスな回転を生み出すエアドライブローターの搭載を必要条件とし、軽量、トラブルレスなエアドライブベル、不要な内を限界まで削ぎ落し、軽量化を突き詰めた薄肉設計のエアドライブスプール、メインシャフトを高精度カラーで支持し、さらにピニオンギアと非接触構造とすることで、高負荷時でも回転ノイズの極めて少ない軽い巻き上げを可能としたエアドライブシャフト。これらの相乗効果とリールの重量バランスの改善により、高次元での操作性を実現する。本機種ではエアドライブローター、エアドライブベル、エアドライブスプールを搭載。

- !
注意
- ・ボディ内部のマグシールド周りへの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。
 - ・ボディ内部の分解作業は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。

モノコックボディ

ドライブギアの両端を、高剛性ボディと高精度プレートをねじ込むことで支持した構造。これによりギアの支持精度、剛性、さらには気密性も向上。また、従来よりもドライブギアのサイズを極限まで拡大することにも成功しました。

SENSITIVE TUNE

BBをグリス仕様からオイル仕様に変更し、マグシールドを除去。BBの仕様変更により、エリアトラウトやバスフィッシングに適した繊細かつダイレクトな巻き心地を実現しました。
※EXIST本来の防水性能が落ちてしまうため、入念なメンテナンスが必要となります。
※SENSITIVE TUNE仕様のリールは故障につながるおそれがありますので、海水域でのご使用をお控えください。

ATD TYPE-L

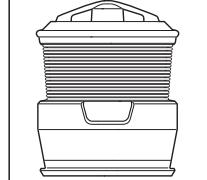
魚の引きに合わせて、滑らかに効き続けるATDの特性はそのままに、スピニングリールにおける初動レスポンスをさらに向上させたのがATD TYPE-L。ライトライン使用時に求められる滑り出しのスムーズさにこだわったチューニングを施し、ラインへの負荷をさらに低減するとともに、魚に過度なストレスを与えず、短時間でのランディングを可能とした。

超々ジュラルミン製マシンカットタフデジギア

冷間鍛造で高強度に仕上げた素材に、高精度なマシンカットを施すことによって理想的なギアを実現。またドライブギアに特殊表面処理を行うことで、高負荷が掛かることによって引き起こされるギアへのダメージを低減。

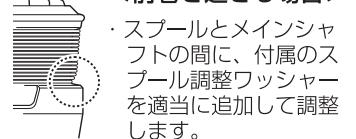
●巻糸状態調整方法

<標準巻糸状態>



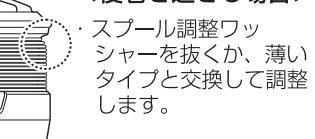
- ・実際に糸を巻くときの張力、使用糸の径のバラツキ等の条件の違いにより、巻糸状態が微妙に変化することがあります。

<前巻き過ぎる場合>



- ・スプールとメインシャフトの間に、付属のスプール調整ワッシャーを適切に追加して調整します。
(付属のスプール調整ワッシャーは0.3mmの薄いタイプと、0.5mmの厚いタイプがございます。)

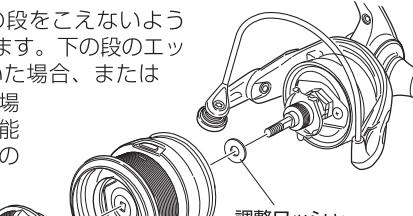
<後巻き過ぎる場合>



- ・スプール調整ワッシャーを抜くか、薄いタイプと交換して調整します。

Long Cast-ABS 推奨巻糸量

スプールリングのひとつ下の段をこえないように巻かれることをお勧めします。下の段のエッジを越える位置まで糸を巻いた場合、または弱いテンションで糸を巻いた場合はバックラッシュを防ぐ性能が得られない場合がありますのでご注意ください。



PEライン使用時の注意

本機種は機械的にバックラッシュを防ぐ工夫をしていますが、PEライン使用時には、よりバックラッシュを防ぐために、以下の2点をおおすすめします。

1.ご使用状況に合わせて、上記のように付属のスプール調整ワッシャーを追加したり、抜

糸巻き時の注意

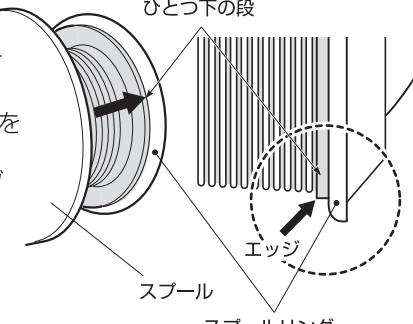
糸を巻く際は、推奨張力程度のラインテンションでの糸巻きをおおすすめします。必要以上の高いラインテンションで糸を巻くと、スプールやギアにダメージを与える場合がございます。ラインテンションを掛け過ぎないようにご注意ください。

いたり、うすいものと交換することにより、標準巻糸状態に近づくように調整してご使用ください。

※但し最低1枚はスプール調整ワッシャーを入れてお使いください。

2.巻糸量を若干減らすことで、更にトラブルが低減されます。

ナイロン、フロロ、エスティル(lb)	~4
推奨張力(g)	100
PE(号)	~0.6
推奨張力(g)	200



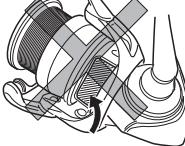
注意!

- ①強いテンションでラインを巻かないでください。
糸を巻く際は、推奨張力程度のラインテンションでの糸巻きをお薦めします。
(※推奨張力 ナイロン・フロロ・エスティルラインは100g、PEラインは200g)
過剰なテンションで糸を巻くと、スプールの変形や回転不具合につながります。
- ②ドラグの設定は800g以下を推奨します。高負荷を掛けた状態で糸を巻き取ると、回転不具合等の原因に繋がります。特に根掛かり外し時のリールでの巻取りや、藻の塊となったルアーの回収にはご注意ください。また、ドラグノブを過剰に締めると破損につながることがありますのでご注意ください。
- ③4lb程度までのナイロン、フロロ、エスティルライン、又は0.6号程度までのPEラインを想定して開発しておりますが、SF (スーパー・フィニス) に特化させた強度基準であり、ご使用にはご注意ください。

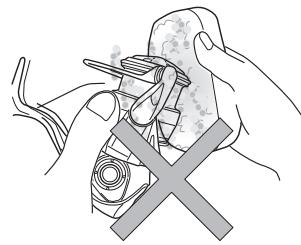
注意 リール性能が損なわれますのでおやめください！

●市販の防錆潤滑剤のご使用は、結果的にギアやボールベアリング等、内部パーツの耐久性を損なう可能性や異音等の発生の原因になることがあります。ご使用された結果生じる不具合につきまして、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

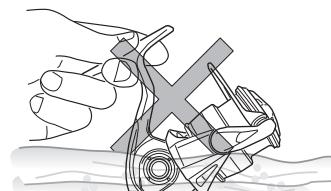
●図に示すマグシールド周りの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。(SENSITIVE TUNEは除く)



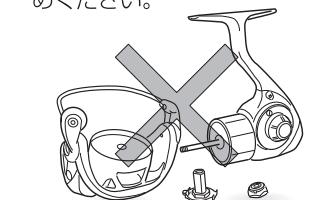
●水洗いの際は、洗剤を使用しないでください。またダイワ製品「爽快釣行リールウォッシュ」についても同様に使用できません。ご注意ください。



●本製品は完全防水ではありません。水に浸けての洗浄はおやめください。

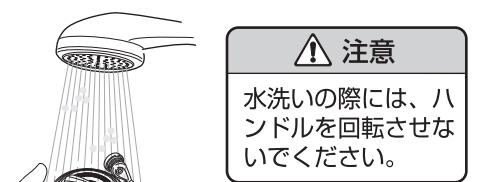


●ボディやラインローラーを分解してのメンテナンスはおやめください。

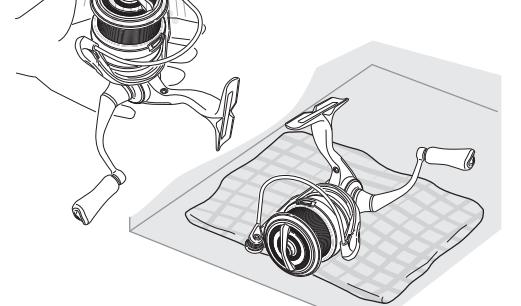


おすすめの水洗い方法

●ご使用後は外観部の汚れ、塩分をシャワー等で全体にまんべんなく真水をかけ、落してください。そして、よく水を切り陰干してください。尚、水洗いはドラグを締め、ハンドル、ハンドルキャップをつけた状態で行い、イラストのようにドラグノブの方向からのみ、水を掛けるようにしてください。



注意
水洗いの際には、ハンドルを回転させないでください。



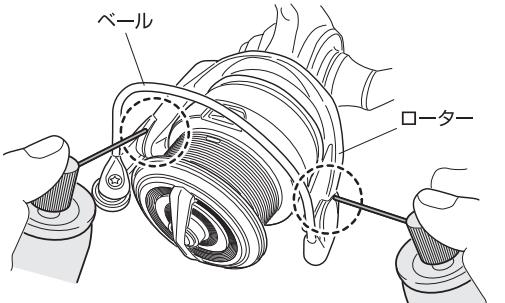
特に海水域でリールを使用した場合、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後に必ずメンテナンスを行っていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により初期性能は低下する可能性があります。本リールを末永くお使いいただくためにも、年一度はオーバーホールに出されることをお薦めします(有料)。

●内部パーツは基本的にはメンテナンスの必要はありませんが、ベール等の作動部には水洗い後、下図の要領で注油をお薦めします。

※推奨グリス：ダイワ純正リールガードグリス
【注油箇所】

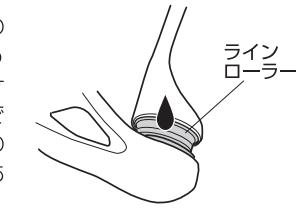
1) ベール周り

図の様に、ベールの付根とローターとの隙間にダイワリールガードグリスを両側共に、極少量を注油してください。



2) ラインローラー部

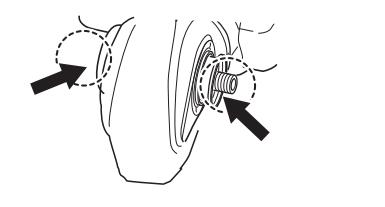
本機種のラインローラーにはダイワリールガードグリスを使用しています。純正のグリス以外は、注油しないでください。純正のグリスを注油する場合は、図のようにラインローラーとアームレバーの隙間に注油してください。また、グリスを付け過ぎると、ハンドル回転時、グリスが飛び散り、服に掛かるおそれがありますので十分ご注意ください。ラインローラースクリューを取り外すことは、部品の紛失の他スクリューが緩み易くなり、釣行時、ラインローラーが外れてしまう可能性がありますのでお控えください。



3) ドライブギア両端

(SENSITIVE TUNE仕様のみ)
(オイル仕様ボールベアリング部)

図のように、ハンドルとハンドルキャップを外してから、ドライブギアを支えるオイル仕様ボールベアリングにダイワリールガードオイルを両側共に、極少量を注油してください。1ヶ月に1回程度の注油をお薦めします。

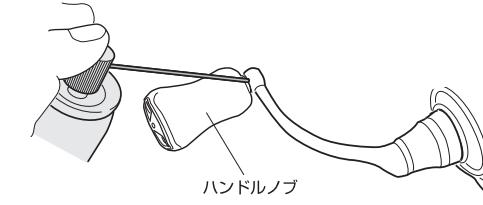


4) ハンドルノブへの注油

図のよう、ハンドルノブへ注油します。

以上の注油は必ずしも毎回釣行毎に行う必要はありません(数釣行に1度程度で十分です)。

※グリス・オイルの付け過ぎは逆に本来の性能を損なう可能性がございます。ご注意ください。



※ギア部などリールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、性能を損なう可能性があります。おやめください。

※万が一、水没させてしまった場合は、水洗いを行ない、水を完全に抜いてください。但し、内部に残った水分により不具合が発生する可能性がありますので、販売店を通じて、速やかに(株)スポーツライフプランネットに修理としてお預けください。

●ハンドル左右切換方法

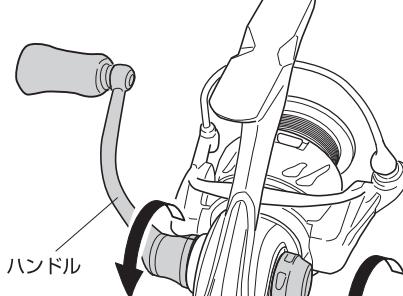
※ハンドルはスクリュー式の着脱になっています。使用中に緩み、落下しない程度にきつく締めてください。
(締付け目安：ハンドルノブに加える力5～6kg)

また過剰に締付けると、ギヤが破損し回転性能が低下することがありますのでご注意ください。

※製品出荷時はハンドルは左仕様になっております。

<左巻きから右巻きにハンドルを交換する場合>

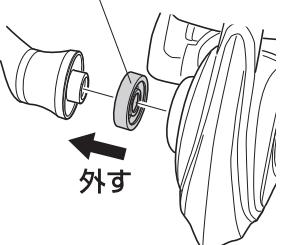
1 ①ハンドルを手で右(時計回り)に回して外します。



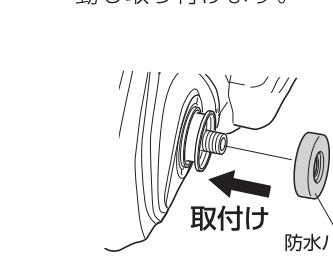
②ハンドルキャップを、左(反時計回り)に回して外します。

2 ③ハンドル側についている防水パッキンも外します。

防水パッキン

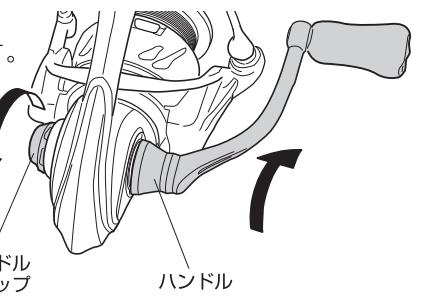


3 ④新しく取り付けるハンドル側へ防水パッキンを移動し取り付けます。



4 ⑤ハンドルとハンドルキャップを入れ替えます。

⑥ハンドルを右(時計回り)に回します。ハンドルキャップを、右(時計回り)に回します。



注意
※防水パッキンの引っ掛け部をリール本体の取り付け側へ向けてください。

●アフターサービスについて
本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合はお買い求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料)
携帯電話からもご利用できます
ホームページからもご確認、
お問い合わせできます
<http://sportlifeplanets.com>

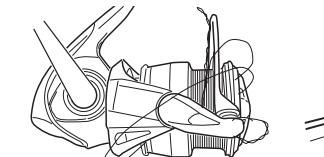
TEL 0120-506-204
【受付時間】9:00～17:00
(土・日・祝祭日は除く)

株式会社スポーツライフプランネット
〒190-0031 東京都立川市砂川町8-79-1

ツイストバスター(TB)

●スピニングリールをご使用中に、よくあるライントラブルとしてリール各部・ロッドのガイドへの糸がらみなどがあげられます。その原因には、もちろんキャスト時のミスや風の影響などもありますが、実は糸のヨレが大きな影響を与えていたのです。

例 リール各部への糸がらみ



例 ロッドの穂先への糸がらみ



ご注意

※ツイストバスターによる糸ヨレの解消率は、釣種・釣法・糸の素材・形状などにより多少異なります。

1.以下のように糸ヨレがあまり発生しない状況下では、今までの製品との性能差がはっきりと出ないことがあります。

①糸のテンションが低い場合

②キャスティング距離が短い場合

2.以下の場合は、ツイストバスターの性能が十分に発揮されないことがあります。

①ドラグを多用した場合

②竿の元ガイドとの距離が極端に短い場合

③PEラインをご使用の場合

※ただし、PEラインはその特性(編み糸構造)上、糸ヨレが発生してもトラブルにはなりにくくなっています。

Long Cast-ABS

・スピニングリールをご使用中に、よくあるライントラブルとしてバックラッシュがあります。ロングキャストABSは、そのトラブルを大幅に解消し、従来比、約5%もの飛距離アップに成功しました。

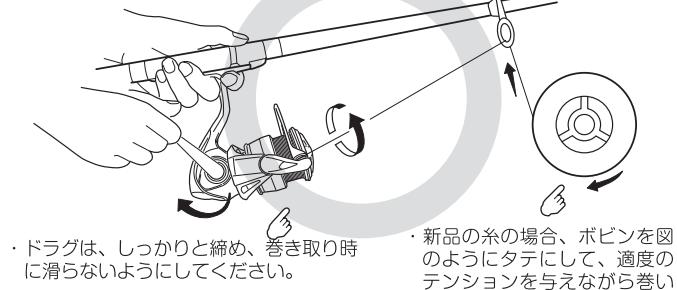
●バックラッシュ(ゴップ)の解消率は、釣種・糸の状態やキャスト時のミスや風の影響などにより多少異なります。

●ツイストバスター(TB)は、糸巻き取り時のヨレ※1を大幅に解消しました。

▲ご使用方法はカンタン。基本的には、これまでのスピニングリールと同じです。ただし、お客様が糸を巻かれるときには、最初からツイストバスターの性能を十分に発揮させるため、以下の方法をおすすめします。

新品の糸を巻かれる場合には、下図のように巻くことをおすすめします。

・図のようにロッドの竿部および元ガイドを活用すると便利です。



・ドラグは、しっかりと締め、巻き取り時に滑らないようにしてください。

・新品の糸の場合、ボビンを図のようにタテにして、適度のテンションを与えてながら巻いてください。

※1 糸巻き取り時の糸ヨレ

・スピニングリールにおける糸ヨレには、釣法・使用糸・ロッド・その他タックルの影響や、ドラグによる糸引き出し時に発生するヨレなどがあります。ライントラブルの大きな原因となるほど糸ヨレは、糸を巻き取るときに多く発生します。・ツイストバスターが、その糸を巻き取るときに発生する糸ヨレを大幅に解消しました。

※ツイストバスターの性能を最大限発揮させるために、アームレバーを若干傾けてあります。

※ダイワはツイストバスターシステムの実施技術およびその周辺について、日本、米国、ヨーロッパ、その他の国々に対し特許と意匠を多数出願しております。

ご注意

※以下のような場合は、アンチバックラッシュシステムの性能が十分に発揮されないことがあります。

- 1.糸を弱いテンションで巻いた場合
- 2.糸を標準巻糸量より多く巻いた場合

例 バックラッシュ(パーク、ゴップ)

